

科目名		設計製図A			
担当教員		星野 麻子		実務授業の有無	○
対象学科	建築デザイン科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	<p>まずは製図道具の名称と使い方をしっかりと習得して、図面作成がスムーズに行われるよう体得する。線の描き方・濃淡のつけ方・太さの使い分けなど基礎的な部分をしっかりと理解する。その後平面図・立面図・断面図・矩計図と描き進めていく中で徐々にスピードも意識して行う。</p>				
学習目標 (到達目標)	<p>教科書の木造2階建て図面(平面図・立面図・断面図・矩計図)をしっかりとトレースしてケント紙A2サイズで提出する。</p>				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	<p>初学者の建築講座 建築製図・製図道具一式・製図版(貸与)</p>				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	製図道具の確認・記名・説明			製図道具は全員が同じ道具を使うので、中身を確認してしっかりと記名する。道具の使い方を習得する。	
2	基本練習(線の描き方)			芯の太さの違うシャープペンシルを使い分けて、線の太さ・濃淡の違いを体得する。ケント紙A2サイズで提出する。	
3	基本練習(平面図各部と文字の練習)			通り芯・壁・開口部・設備機器等の描き方を学ぶ。製図用の整った文字を習得する。	
4	課題1.平面図			木造平面図の描き方を学ぶ。ケント紙A2サイズのレイアウトに注意して全員で段階を踏んで描き進める。特に線の使い分けを習得する。完成後提出。	
5	課題2.立面図・断面図			木造立面図・断面図の描き方を学ぶ。ケント紙A2サイズのレイアウトに注意して全員で段階を踏んで描き進める。屋根や開口部・建物の断面構成を理解する。完成後提出。	
6	課題3.矩計図			木造矩計図の描き方を学ぶ。まずは部材の名称と位置を学び、その後全員で段階を踏んで描き進める。細かい部分の寸法を意識して集中力を切らさず描き進める。完成後提出。	
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
課題1	課題2	課題3	提出物	<p>建築士試験に於いて二次試験の基礎となる部分です。線の太さと濃淡を意識してぶれないくっきりとした線を心掛けましょう。課題提出締め切り日は常に意識して、集中力を切らさず取り組むことも練習しましょう。授業時間は集中し、休み時間はしっかり休む等メリハリをつけて臨みましょう。メリハリのある図面を完成させたときの達成感を楽しみましょう。</p>	
30 %	30 %	30 %	10 %		
成績評価基準は					
A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		住宅設計に11年間従事			